

令和元年 12 月 26 日
気象庁予報部
気象庁観測部

配信資料に関するお知らせ

～東京レーダーの更新期間中におけるレーダー関連プロダクトへの影響軽減対策～
(令和元年 11 月 6 日付お知らせ関連)

令和元年 11 月 6 日にお知らせしているとおり(別添資料)、機器更新作業のため東京レーダーの運用を休止します(令和 2 年 1 月 23 日～3 月 5 日)。

この休止期間、レーダー関連プロダクトの精度維持のため、全国合成レーダーエコー強度及び解析雨量とそれを初期値とした降水短時間予報に成田国際空港及び東京国際空港の空港気象ドップラーレーダーの観測データを取り込む対策を行います。

記

1 影響軽減対策の実施予定期間(すべて日本時間)

- ・1kmメッシュ全国合成レーダーエコー強度及び 5 分毎1km メッシュ全国合成レーダーエコー強度
令和 2 年 1 月 23 日(木)～ 3 月 5 日(木) (東京レーダーの運用休止期間)
- ・解析雨量及び降水短時間予報
令和 2 年 1 月 20 日(月)13 時 00 分～令和 2 年 3 月 9 日(月)13 時 00 分
- ・速報版解析雨量及び速報版降水短時間予報
令和 2 年 1 月 20 日(月)13 時 10 分～令和 2 年 3 月 9 日(月)13 時 10 分

2 影響軽減対策を行う領域

- ・成田国際空港及び東京国際空港の空港気象ドップラーレーダーからそれぞれ半径 110km 以内の範囲(別紙1)

3 補足事項

- ・天候等により東京レーダーの運用休止期間が変更になった場合、それに合わせて実施期間も変更します。
- ・全国合成レーダーエコー強度の配信時刻は、現状より 1 分程度遅くなる場合があります。

- 1kmメッシュ全国合成レーダーエコー強度と一緒に配信している 2.5km メッシュ全国合成レーダーエコー頂高度においては、影響軽減対策を行いません。
- 全国合成レーダーエコー強度及び解析雨量のデータフォーマット上の変更は行いません。全国合成レーダーエコー強度については、当該データフォーマット上、空港気象ドップラーレーダーのデータの使用の有無は示されませんので、利用にあたっては留意願います。解析雨量と降水短時間予報のデータフォーマットにおける空港気象ドップラーレーダーのデータの使用の有無については、別紙2、3、4を参照願います。

以上

問い合わせ先： 気象庁観測部観測課
電話 03-3212-8341 内線 4146

令和元年 11 月 6 日
気象庁予報部
気象庁観測部

配信資料に関するお知らせ

～東京レーダーの更新とそれに伴う運用休止について～

気象庁は、今年度、東京レーダーを二重偏波気象レーダーに更新します。この更新作業に伴い、下記のとおり東京レーダーを運用休止します。

運用休止期間中のレーダーデータの利用及び更新後の「極座標」の配信データの変更について留意願います。

記

1 運用休止期間（予定）

令和2年 1月23日（木）～ 3月5日（木）

※運用休止期間は、天候等の都合により変更する場合があります。

運用休止・再開にあたり、レンラク報による周知を行います。

2 運用休止期間中のレーダーデータへの影響

当該レーダーの観測処理範囲（別紙1）では、降水エコーが観測されない、又は降水エコーが実際より弱く観測されることがあります。影響を受ける観測資料及びプロダクトは別紙2のとおりです。

3 更新後のレーダーデータ

更新の前後で、配信されるデータのフォーマットに変更はありません。

空中線走査シーケンス（アンテナを回す仰角の組み合わせ）の変更に伴い、「レーダー毎極座標レーダーエコー強度 GPV」及び「レーダー毎極座標ドップラー速度 GPV」に含まれる観測仰角や仰角数が変わりますが、それらは従来どおりのフォーマットに従ってデータに書き込まれます。

以上

問い合わせ先：

気象庁観測部観測課レーダー運用係
電話 03-3212-8341 内線 4142

気象レーダーの観測処理範囲 (500km×500km)

令和2年 1月23日～3月5日



